

## 事例① 肥料のコスト低減

「農業県宮崎」として、低コストで多用な地域性などの要望に応えられるよう、昭和54年よりBB肥料の製造取組みを行っています。

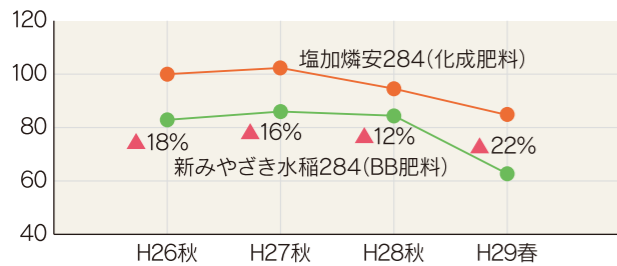
平成29年より、各JAと協力し、一括製造や一括取引などのメリットを価格に反映し、**主要2銘柄(水稲・麦などの元肥及び全作物の追肥)について、15~20%引き下げました。**

今後も飼料用銘柄や露地園芸銘柄で銘柄集約などによる更なる肥料のコスト低減を進めます。



### [BB肥料と化成肥料の価格推移]

H26秋の化成肥料価格を100としたときの指標



## 事例② 農薬のコスト低減

### 大型規格農薬の普及拡大

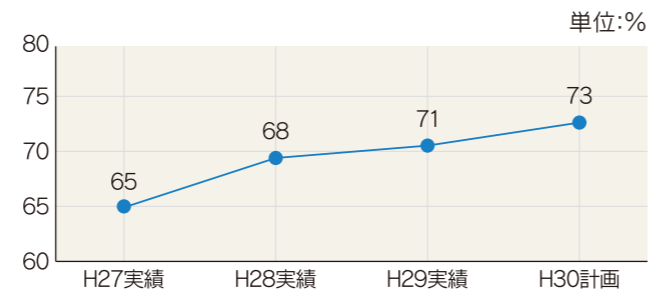
平成9年より**通常の規格より割安な価格**となっている**大型規格商品**の取扱いを行い普及を進めています。

例えば**葉茎処理除草剤の大型規格5.5ℓは500ml当たり40%以上のメリット**があります。

流通量は年々増加傾向にあり、普及拡大を図ることでコスト低減を進めます。



### [ラウンドアップ大型規格シェア率の推移]



## 事例⑤ 農業機械の多様な仕入れ

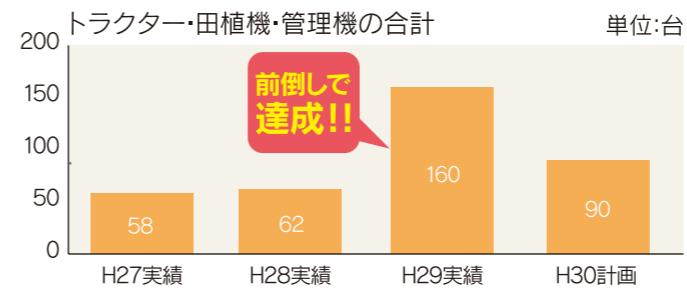
農業機械では、県内での主要な機械を**GOGOテン型式**として設定し取り扱っています。また**県域を越えた多様な仕入れ**に取り組んでいます。

29年度では、トラクター、田植機、管理機、動噴、刈払機などで、**10%~30%のメリット**が出ました。

今後もさらに新しい機種への取り組みを検討しております。



### [ゴーゴーテン型式の実績推移]



## 事例⑥ 農機レンタル事業の拡大

農業機械レンタル事業は、平成19年から全国に先駆け宮崎で取り組みました。

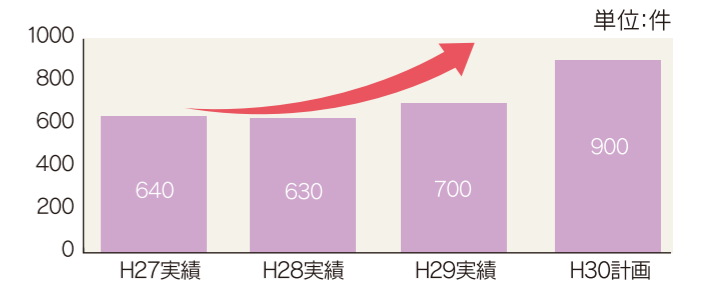
レンタルのメリットである「必要な時に必要日数だけレンタルできる」「初期投資・維持管理費が発生しない」を生かし、普及推進を行っています。

平成29年度は約700件のレンタル実績があり、前年より10%以上増加しました。

現在、46機種125台のラインナップをそろえ、さらなる普及拡大と稼働率の向上を図ることで、利用料金の引き下げによるコスト低減を進めてまいります。



### [農業機械レンタルの実績推移]



## 事例③ 農薬のコスト低減

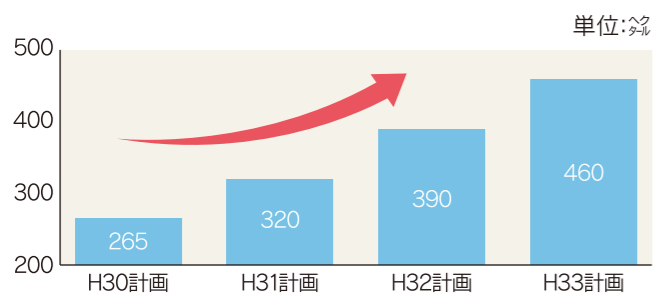
### 担い手直送規格農薬の普及拡大

平成30年より水稲用除草剤で「担い手直送規格(4~5畝)」の取扱いを始めました。**簡易な包装やメーカーからの生産者直送など、徹底したコスト削減で、通常規格の、1kg箱で換算すると約20%のメリット**があります。

今後もコスト低減の一助として普及拡大を目指します。



### [担い手直送規格を利用する面積推移]



## 事例④ 飼料の銘柄集約によるコスト低減

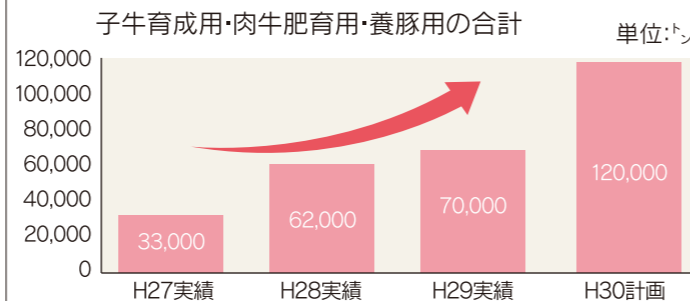
「子牛育成用」「肉牛肥育用」「養豚用」それぞれの配合飼料で一層の生産性向上を主眼においた、**配合割合を見直した飼料を平成27年に開発**しました。

開発した飼料への切り換えを推進し集約することで、**最大で約20%のコスト低減**を行いました。

今後もさらなる推進により、製造量を増やし、工場稼働率を上げ、コスト低減を進めます。



### [銘柄集約による配合飼料の取扱推移]



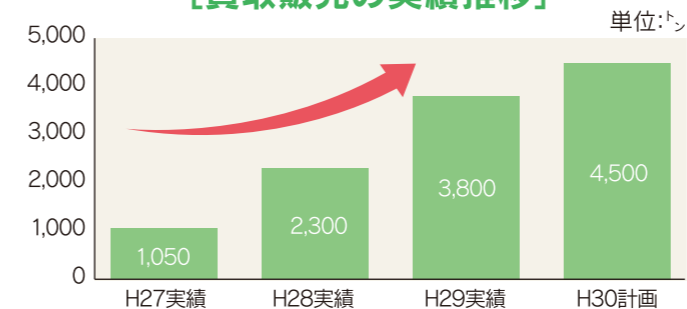
## 事例⑦ 青果物の買取販売や直接販売の拡大

ピーマン、キャベツ、サトイモなどの品目を中心に**年間約4,000トンの買取販売**を実践しています。また、量販店・生協・加工業者などの実需者への積極的な営業を行い**年間約6,500トンの直接販売**を実践しています。

青果物取引の多様化に対応し、実需者ニーズに基づくマーケットインでの商品・産地づくりを進め、**買取販売と直接販売の拡大による生産者所得の安定確保**を目指します。



### [買取販売の実績推移]



## 事例⑧ 加工・業務向け契約栽培の拡大

**ニーズを捉えたマーケットイン**による産地づくりを目指し、**加工・業務向け契約栽培の拡大**を進めています。

協同会社をはじめとする各取引先との契約栽培で、**約27,000トンの実績**となっています。

今後も**分業化・機械化体系**の取組みを行い、**生産基盤の拡大**を目指します。



### [加工・業務向け契約栽培実績推移]

